

環境方針

荏原の環境方針は、荏原グループが広く社会に受け入れられ、社会の発展に寄与し、社会とともに成長し続けるために、法令、社会規範、企業倫理を遵守することを定めた「荏原行動基準」の中で宣言しています。

荏原の環境方針はホームページ <http://www.ebara.co.jp> 環境情報からご覧ください。

環境方針の達成に向けた2003年度の主な成果と今後の取り組み



株式会社荏原製作所
取締役 常務執行役員
技術・研究開発統括
兼 QA統括・環境担当

大下 孝裕

環境マネジメントシステムの継続的改善

荏原は、各事業所や事務所、部門ごとの活動を中心として環境マネジメントシステムを運営しています。

2003年度には11月に荏原グリーン調達ガイドラインを策定しました。事業部門の製品特性に応じたガイドラインとし、環境への負荷の少ない製品、システム、サービスの提供に努めてまいります。

製造事業所のゼロエミッション

1999年からスタートした製造事業所のゼロエミッション活動は2004年度末が目標達成期限となっています。

荏原の業績や現実的な状況を踏まえ、目標の定義の見直しを図りました。その結果、廃棄物のゼロエミッションについては2003年度に目標を達成することができました。CO₂排出量の削減は、業績低下により、設備投資が進められず苦慮しているところですが、製造プロセスの見直しなど、日々の改善活動の中で引き続き努力してまいります。

環境情報の開示

みなさまの環境への関心の高まりから、荏原環境レポートの発行部数は増加しており、2003年版は7,000部に達しました。みなさまのご意見を聞きながら、改善に努めてまいります。

環境事業による社会への貢献

荏原は、持続可能な循環型社会を実現する製品、システム、サービスを提供しています。荏原の環境事業の発展は社会全体の環境保全に貢献すると考えています。

2003年度はバイオマスエネルギーや資源に変換する技術の実証試験や、マイクロガスタービンによるコージェネレーションシステムの自社内への導入など、荏原が目指す循環型社会に向けた技術が目に見える形となりました。これらを複合的に取り入れた豊かな社会システムをみなさまに積極的に提案し、環境と経済が両立するより良い社会造りに貢献してまいります。

今後の取り組みについて

私は2004年4月に荏原の環境担当に就任いたしました。基本的な取り組み方針は、前任者と同じですが、技術・研究開発、品質保証も兼務していることを活かし、環境配慮を製品、システム、サービスの品質の一つとらえて活動したいと考えています。

企業活動のあらゆる場面において環境に配慮することによって皆さまの信頼を得、企業全体の経営品質の向上につなげてまいります。

2004年6月に公布された環境経営促進法では、企業が環境情報を積極的に開示することによって環境配慮の取り組みを促進することを求めています。

荏原環境レポートではこれからも荏原の環境技術や環境保全の取り組みの成果を総合的にわかりやすくお伝えし、私たち荏原自らはもちろんのこと、お読みいただいたみなさまが環境保全にさらに取り組むきっかけとなる情報コミュニケーションツールにしてゆきたいと考えています。